

社会性報告

社会性報告の目標と実績

クボタグループでは、さまざまなステークホルダーの皆様の満足向上を図り、企業価値を高める活動を、それぞれのテーマごとにPDCAサイクルをまわして推進しています。

2019年度の社会性報告の総括と2020年度の重点課題および中期目標

マテリアリティ	大項目	主な活動テーマ	Plan	Do	左記の対象範囲
			2019年度の重点課題	2019年度の活動実績	
お客様	お客様満足への取り組み	お客様満足につながる品質・サービス	● 監査機能を強化する	● 従来の品質監査に加え、検査成績書を発行しているすべての製品について品質コンプライアンス監査を実施した	品質監査 国内:13部門 海外:10部門 品質コンプライアンス監査 国内:16部門 海外:5部門
			● ISO9001要求事項の事業プロセスへの統合を確実にし、業務プロセスの質と効率を継続的に改善する	● パフォーマンス指標を設定し、プロセスの改善に取り組んだ。ISO9001内部監査を有効に機能させるため、全社規程を改訂した	海外含むグループ全体
			● お客様やディーラー、取引先の満足度向上のため納入した製品の稼働状況の調査を徹底し、課題を迅速に解決する	● 計画通り新機種に対してすべて実施した	(株)クボタのみ
			● 新システムを活用した窓口業務の運営	● 問合せ窓口で受ける相談内容を記録し分析を開始	
			● 販社向、一般向FAQの公開	● 販社向FAQ、一般向FAQ(電農スクエア)でよくある問合せを公開開始	
取引先	CSR調達の取り組み	CSR調達の取り組み	● モノづくり改善活動のグローバル展開をさらに拡大し、世界最適調達を推進する	● 調達担当者と取引先とが一体となり、KPSに基づいた改善活動を推進し、相互のモノづくり改善力の向上活動をグローバルに展開 ● CSR調達チェックシートによる自己診断を国内主要取引先に発信	(株)クボタ(機械部門) 海外グループ(機械部門) (株)クボタ(機械部門)
			● 取引先の環境負荷物質低減活動推進と省エネルギーサイクルなど環境に配慮した生産活動への表彰制度継続実施および表彰対象取引先の拡大を図る	● 環境に配慮した生産活動を推進した取引先表彰を実施 ● 表彰制度を海外グループに拡大した	(株)クボタ(機械部門) 海外グループ(機械部門)
			● 引き続き、調達取引先に紛争鉱物の取り組み方針を説明し、クボタグループが実施する調査活動への協力を要請する	● 調達取引先に取り組み方針を説明し、クボタグループが実施する調査活動への協力を要請した ● 「紛争鉱物の調達方針」を定めていただくようお願いした ● サプライヤーから受領したCMRT情報の検証・精度向上を図った	海外含むグループ全体
株主等	適時適切な情報発信	適時適切な情報発信	● IRイベントや面談の継続実施、投資家向けWebサイトの改善などを通じて、株主や投資家の皆様の要望に応える幅広い情報の発信や建設的な対話を推進する	● 株主や投資家の皆様の事業理解促進のため、面談による積極的な対話や、事業説明会(1月:エンジン事業、12月:研究開発)を実施 ● ユーザーの利便性向上を目的に投資家向けサイトのトップページのデザインを変更	海外含むグループ全体
			● 個人株主との対話活性化活動としての施設見学会の開催 ● 個人株主増加のための取り組み推進	● 株主向け工場見学会の実施 ● 投資家向け会社説明会の実施、IRフェア等に参加	(株)クボタのみ
			● 分かりやすいコーポレート情報発信による理解促進とブランド訴求 ● 各地域マーケティング活動に応じた情報の発信	● クボタの事業や先端技術、SDGsへの取り組みを紹介するコンテンツを作成した ● 機械海外販売会社Webサイトテンプレートを作成し、新興国を含め各国での発信強化とクボタブランド訴求強化を行った	海外含むグループ全体
従業員	働きがいと活気ある職場づくりの実現に向けて	一人一人に安全な職場づくり	● 設備異常そのものの再発防止取り組み活動の実施 ● 「設備本質安全化ガイドライン」に基づく安全対策の継続推進	● 発生した設備の異常に対し、異常の「見える化」による再発防止を進め、異常そのものを無くしていくことによる災害の撲滅を図る活動を実施 ● 「設備本質安全化ガイドライン」に基づき、ありたい姿であるレベルIIに達していない既存設備については、すべてレベルIIにする実行計画(2018年度~2022年度)の達成に向けた活動を推進。新規設備については、2017年度に改訂した「機械のリスクアセスメント」により、導入時から、より高いレベルであるレベルIIIとなるような運用を推進	国内グループ全体 国内グループ6社 海外グループ16社
			● 労使委員会での情報共有を継続する	● 各種労使委員会(中央、事業所)にて現状の課題等について情報共有・協議を実施した ● ワークライフバランスの拡充(年次有給休暇の取得推進等)や職場環境の改善等について協議し取り組みを推進した ● 労働関係法令の改正等への対応を協議し施策の検討を行い対応を推進した	(株)クボタのみ
	生き生きとした職場づくり	● クボタグループで「クボタ心の健康づくり活動計画」に基づく具体策を推進する	● 各拠点におけるラインケア研修・セルフケア研修に際して、EAPコンサル監修の共通の研修コンテンツを導入した	国内グループ全体	
		● 健康クボタ21(第2次)を継続して推進する	● 年間推進テーマ「運動」に関するコンテンツを個人部門・事業所部門に分けて実施した ● ヘルスリテラシー向上の一助として「ウェアラブルデバイス」の無料貸与を開始した	国内グループ全体	
	人権の尊重	人権の尊重	● 国内のハラスメント(セクハラ・マタハラ・パワハラなどの嫌がらせ)予防・解決力の向上	● 販売会社を含めた国内のハラスメント(セクハラ・マタハラ・パワハラやLGBTに対する嫌がらせ)予防・解決につながる啓発活動を継続実施した	国内グループ全体
			● 海外拠点の人権状況を把握し、人権の国際基準をふまえ、他社の取り組み状況も参考に、人権の取り組みを引き続き検討する	● 海外拠点の人権状況を把握し、英国現代奴隷法へのステートメントを公表するなど各国の人権基準に合致した対応を行った	海外含むグループ全体
			● 女性社員育成の推進 ● 女性管理職候補者研修の継続実施 ● ダイバーシティ・マネジメントの深耕 ● 女性活躍推進法一般事業主行動計画の推進 ● ダイバーシティ領域の拡大	● 女性リーダー育成研修の実施(性別によらないリーダー研修へ移行) ● さらなる両立支援制度の拡充(育児に関する繰り上げ繰り下げ・短時間勤務を小6まで拡大・取得単位を30分から15分へ短縮) ● 男性従業員の育児休暇取得率の拡大 ● クボタグループ全体での障がい者雇用の拡大	(株)クボタのみ
グローバル化に対応した人事施策の推進	グローバル化に対応した人事施策の推進	● グローバル経営を推進するために不可欠な人事施策を、引き続き検討・実行していく	● 北米における次世代幹部研修の継続実施と、海外グループ会社の管理監督者候補者や技術者の育成を目的とした、クボタ国内拠点へのトレーニング受入の拡充 ● 欧州地域各社のマネージャー向けに強い組織づくりと協力体制の強化に必要な知識を取得する研修を実施 ● 海外トレーニング制度の拡充およびハーバードビジネススクール派遣プログラムの継続	海外含むグループ全体 海外グループ会社 (株)クボタのみ	
		● 行動規範をベースとした、コンプライアンスのマインドの醸成	● 行動規範の読み合わせ会を実施した(国内グループ全体) ● 企業理念の浸透は入社者教育や社内報を通じて実施した	海外含むグループ全体	
地域	社会貢献活動	● 国内外の活動実績集計システムを次年度レポートWeb版で公開 ● 海外拠点が取り組む活動をサポートする	● テスト公開の開始 ● 海外拠点の担当者との意見交換	海外含むグループ全体	
		● 被災地の再生・復興に向けて	● 「食料・水・環境」のテーマを意識しながら、継続的にクボタらしさのある復興支援活動を推進する	● 各被災地ごとにクボタとしてできる復興支援を検討し、実施(台風19号被災地へのボランティア派遣など)	国内グループ全体

〈当該項目に関連するSDGs〉



マテリアリティ	大項目	主な活動テーマ	Check	Act	Plan
			自己評価	2020年度の重点課題	中期目標
お客様	お客様満足への取り組み	お客様満足につながる品質・サービス	○	●検査自動化システムを順次導入する	●品質保証に関する規範意識の強化・ガバナンスの見直し
			○	●ICT活用と品質保証機能を強化する	●品質問題のすばやい対応
			○	●回答の精度・スピード向上によるお客様満足向上 ●FAQの閲覧率を高めるとともに解決率を向上させる	●お客様の声を反映した問合せ窓口業務の改善 ●点検整備を含むお客様ニーズへの対応力強化
取引先	CSR調達の取り組み	CSR調達の取り組み	○	●モノづくり改善活動のグローバル展開をさらに拡大し、世界最適調達を推進する ●取引先でのCSR体制の状況を把握し、改善へとつなげていく ●省エネ・リサイクルなど環境負荷低減や環境に配慮した活動に対する表彰を国内外に展開、実施を拡大していく ●引き続き、調達取引先に紛争鉱物の取り組み方針を説明し、クボタグループが実施する調査活動への協力を要請する	●クボタグループ各社の調達先でのガイドライン趣旨の実践を促し、サプライチェーンを通じた、CSR調達を浸透させる
			○	●IRイベント・面談の継続実施を通じて、株主や投資家の皆様の要望に応える幅広い情報の発信や建設的な対話を推進する ●内閣府令の改正に則り、有価証券報告書での情報開示の充実を図る ●新規株主の継続した創出活動の実施 ●既存株主の長期保有化のための施策の実施	●面談やIRイベントなどを通じて中・長期的な企業価値向上に資するステークホルダーとの対話の継続的な実施 ●企業の実態を反映した適正な株価の形成をめざしたIR活動の推進
			○	●デジタルも活用し、分かりやすくタイムリーな情報発信による理解促進とブランド訴求 ●国内外グループ全体で、一貫性のあるブランド強化を図る	●中・長期的なブランドコミュニケーション、各地域ニーズに応じた情報発信の強化
株主等	適時適切な情報発信	適時適切な情報発信	○	●設備異常そのものの再発防止取り組み活動の継続実施 ●「設備本質安全化ガイドライン」に基づく安全対策の継続推進	●クボタグループ全員がすべての業務において安全最優先で行動し「機械装置」による挟まれ・巻き込まれなどの重大災害につながる可能性のある災害ゼロ」をめざす
			○	●労使委員会での情報共有・協議を継続する ●クボタグループで「クボタ心の健康づくり活動計画」に基づく具体策を推進する ●職場環境改善への取り組みを強化する ●健康クボタ21(第2次)を継続して推進する ●年間テーマ「禁煙」を中心に健康づくりイベントの実施 ●がん対策強化を推進 ●すべての従業員を対象にした胃がんリスク検査の実施	●クボタグループ全員が健やかで心豊かに生活できる、活力ある職場環境の実現をめざす
			○	●国内のハラスメント(セクハラ・マタハラ・パワハラやLGBTに対する嫌がらせ)予防と相談窓口機能充実による解決力の向上 ●人権の国際基準をふまえた取り組みを推進する	●海外を含めクボタグループとして人権啓発活動の浸透を図る
従業員	働きがいと活気ある職場づくりの実現に向けて	一人一人に安全な職場づくり	○	●さらなる両立支援制度の検討 ●クボタグループ一体となったさらなる障がい者雇用の推進 ●LGBT関連施策の検討 ●外国人従業員に対する施策検討	●ダイバーシティ・マネジメント推進の継続(性別・国籍・年齢などに関係なく、従業員の能力・意欲を引き出す企業風土醸成・施策を検討する)
		生き生きとした職場づくり	○	●グローバル経営を推進するために不可欠な人事施策を、引き続き、検討・実行していく	●北米における次世代幹部研修、欧州地域マネージャー研修の継続実施と、海外グループ会社の管理監督者候補者や技術者の育成を目的とした、クボタ国内拠点へのトレーニー受入の拡充 ●海外語学研修制度の継続(海外留学派遣、北米・フィリピン語学強化研修、海外企業インターンシップ等) ●海外トレーニー制度の拡充およびハーバードビジネススクール派遣プログラムの継続
		人権の尊重	○	●行動規範をベースとした、eラーニングの実施など ●SDGs推進と絡めた企業理念浸透活動の推進	●企業理念や行動規範をベースとした、CSRやコンプライアンスのマインドの醸成
地域	社会貢献活動	国際社会・地域社会への貢献	△	●国内の活動実績集計システムを次年度レポートWeb版で公開 ●海外拠点が取り組む活動をサポートする	●海外での取り組み拡大 ●NPO・NGOなどとの連携推進
		被災地の再生・復興に向けて	○	●「食料・水・環境」のテーマを意識しながら、継続的にクボタらしさのある復興支援活動を推進する	